

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 13 日 (2021.5.13)

【公開番号】特開 2020-189149 (P2020-189149A)

【公開日】令和 2 年 11 月 26 日 (2020.11.26)

【年通号数】公開・登録公報 2020-048

【出願番号】特願 2020-135912 (P2020-135912)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 3 C

A 6 3 F 5/04 6 2 0

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 30 日 (2021.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

有利区間であることを報知可能な所定の表示手段を有し、

通常区間では、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知する場合を有していないよう構成され、

有利区間では、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知可能な場合を有するよう構成され、

有利区間では、所定の抽選結果が決定された遊技で遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知する場合と、前記所定の抽選結果が決定された遊技で遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知しない場合とを有し、

有利区間における遊技の実行に応じて更新可能な値を記憶可能な所定の記憶手段を有し、

特定の抽選結果となり、特別の図柄組合せが停止表示された場合には特別遊技状態に移行可能とし、

前記特定の抽選結果となり、前記特別の図柄組合せが停止表示されなかった遊技の次の遊技は内部中遊技状態の遊技であり、

有利区間における内部中遊技状態でも、遊技の実行に応じて前記所定の記憶手段に記憶されている値を更新可能とし、

前記所定の記憶手段に記憶されている値が有利区間を終了する値となった場合には、有利区間を終了するよう構成され、

有利区間を終了する場合には、前記所定の記憶手段に記憶されている値を初期化するように構成され、

前記所定の表示手段が点灯している所定の状況下で電源スイッチをオフにし、その後、設定変更モードに移行するための操作がなされていない第 1 の状況下で電源スイッチをオンにした場合には、前記所定の表示手段が点灯するよう構成され、

前記所定の表示手段が点灯している前記所定の状況下で電源スイッチをオフにし、その後、設定変更モードに移行するための操作がなされている第 2 の状況下で電源スイッチを

オンにした場合には、前記所定の表示手段が点灯しないよう構成されている
ことを特徴とするスロットマシン。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明が解決しようとする課題は、有利区間を備えるスロットマシンにおいて、有利区
間であることを遊技者に報知することができるようにすることである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、

遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、

有利区間であることを報知可能な所定の表示手段を有し、

通常区間では、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知する場合を有してい
ないよう構成され、

有利区間では、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知可能な場合を有する
よう構成され、

有利区間では、所定の抽選結果が決定された遊技で遊技者に有利なストップスイッチの
操作態様を報知する場合と、前記所定の抽選結果が決定された遊技で遊技者に有利なスト
ップスイッチの操作態様を報知しない場合とを有し、

有利区間における遊技の実行に応じて更新可能な値を記憶可能な所定の記憶手段を有し

、
特定の抽選結果となり、特別の図柄組合せが停止表示された場合には特別遊技状態に移
行可能とし、

前記特定の抽選結果となり、前記特別の図柄組合せが停止表示されなかった遊技の次回
の遊技は内部中遊技状態の遊技であり、

有利区間における内部中遊技状態でも、遊技の実行に応じて前記所定の記憶手段に記憶
されている値を更新可能とし、

前記所定の記憶手段に記憶されている値が有利区間を終了する値となった場合には、有
利区間を終了するよう構成され、

有利区間を終了する場合には、前記所定の記憶手段に記憶されている値を初期化するよ
うに構成され、

前記所定の表示手段が点灯している所定の状況下で電源スイッチをオフにし、その後、
設定変更モードに移行するための操作がなされていない第 1 の状況下で電源スイッチをオ
ンにした場合には、前記所定の表示手段が点灯するよう構成され、

前記所定の表示手段が点灯している前記所定の状況下で電源スイッチをオフにし、その
後、設定変更モードに移行するための操作がなされている第 2 の状況下で電源スイッチを
オンにした場合には、前記所定の表示手段が点灯しないよう構成されている

ことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、有利区間であることを遊技者に報知することができる。